



# 越谷南ロータリークラブ会報

会長 岩淵秀一 幹事 染谷宗一 会長エレクト 小林光蔵

R I 会長テーマ 「奉仕を通じて平和を」

クラブ会長テーマ 「奉仕を楽しむ為に60名会員の達成を」

平成25年5月2日 第1906回例会

## ロータリーソング斉唱「奉仕の理想」

### 黙想

### 四つのテスト

### 誕生日祝

木佐兼一、久木野光弘、佐藤太、遠山浩人、浜野高成、深井良孝、吉田豊治

### 結婚祝

赤松則宏、浅水尚伸、木佐兼一、佐藤太

### ゲスト・ビジター紹介

### 会長挨拶

#### 浅水尚伸直前会長

先日の地区協議会のご報告の中に、R I (クラブリーダーシップ研修会) のことが話題になっていました。意外に認知度が低そうだなと思い、今日は、

関連する話しをさせていただきたいと思います。

このR Iは、都合、3つのパートに別れており、私は、この3回と修了者向けの都合4回の研修に参加しました。そこで、ここでされる研修のやり方、いわゆる「セッション方式」と言われるものについて、お話をしようと思います。ご存じの方も多いと思いますが、当地区がいわば生みの親ということもあり、復習しておきましょう。

この方式は、アメリカサンディエゴで行われるガバナーエレクトの研修会である国際協議会で採用されているほか、会長エレクトの研修であるPETSでも行われている方式です。そして、地区協議会の分科会でも盛んに取り入れられています。このやり方は、バズ・セッションとも言われます。バズとはハチのブンブンという羽音のことですが、討議が活発に行われることを意味しています。一言で言えば、参加者を少人数のグループ(原則6名)に分けて、自由に討議させ、そこで得られた結論をグループの代表者が発表し、さらに参加者全体としての討議を進める、というものです。

この方式で議論に参加すると、参加意識が高まり、全員が意見を出すようになっていきます。R Iでは、地区の委員の方がセッション・リーダーを務め、どんどん発言者を指名していくやり方が取られています。ここでは、単なる知識を問われるのではなく、知識を得た上での自分なりの考え方を示

すことが求められます。初めは、知識のなさを暴露することへの恥ずかしさや自分の理解の不正確さを知り、落ち込んだりもしますが、慣れると、「知識の有無は、どうでも良いことだな」、「ロータリーのことを網羅的に知っている人はそうはいないな」、「日本のことは知っているも、世界のことは知らないな」ということに気付き、ロータリーというものは、ものの考え方、あるいは、価値観であることが実に良く理解できます。

例えば、こんな具合に進めます。「あなたのクラブの会員数の最盛期は?」「現在は?」「何故、減ったのですか?」「景気が悪いことも一つの原因かと思えます」「景気が悪い中で会員を増やす方法は何かありますか?」「他に原因は?」「高齢化して身近に勧誘すべき対象者が少なくなっています」「では、対策は?」「若い人を積極的に入れるべきです」「若い人に入会してもらうにはどうすれば?」・・・と言うような感じでは、研修リーダーセミナーなどでは、各テーブルで議論した結果を発表してもらい、さらに、全体で意見交換をしたりします。

このやり方であれば、全員が万遍なく発言の機会が得られると思います。また、セッションリーダーがうまく話しを展開させることにより、入会したばかりで、知識がない人でも、議論に参加できます。むしろ、思いこみや予断がない分、貴重な意見を提起してもらえます。

この方式を自分の事業所での会議にも適用しているという社長さんが何人かいるようです。規模の大きい会社であればなかなか使えるのではないのでしょうか。

## 幹事報告

染谷宗一幹事

- 第11回定例理事会の承認・協議事項。
  - ①5月、6月のプログラムの件
  - ②グランドゴルフの決算報告
  - ③ゴミゼロの予算案について
  - ④青少年交換来日学生のカウンセラー(深井会員)について
  - ⑤再入会会員(石川勝利氏、松田和久氏)について
  - ⑥職業研修チーム(VTT)の収支報告
  - ⑦クラブエンブレムの追加作成(20個)についてすべて承認
- ロータリーの友とガバナー月信が届いています。
- 越谷南高校吹奏楽学部第28定期演奏会が明日開催されます集合場所・時間をコミセンの入り口付近に15時と致します。
- 地区より次年度の年度計画書作成に必要なデーターを頂きました。



5. 緑の羽根の募金箱を用意致しましたので募金お願い致します。

**広報・雑誌委員会**

奥野明彦会員

ロータリーの友紹介

**丸山新会員へ**

**ロータリーグッズ授与**



**委員会報告**

- ◇次年度幹事 中島頼光副幹事  
次年度理事会・委員長会議を開きます。5月8日17時より全員参加でお願いします。副委員長代理でも結構です。
- ◇親睦委員会 清村勝之委員長  
例会終了委員会を開催します。
- ◇ロータリー情報 石塚一男委員長  
例会終了後委員会を開催します

**地区協議会報告**

**小林光蔵会長エレクト**

先週に引き続き3人をお願いします。

◇社会奉仕部会 小林武弘会員  
初めて参加させていただきました。中でもブライダル委員会の話に興味を持ちました。知らなかったのですが今までに104組の方々が結婚されているそうです。我々が推薦する方を登録して紹介しているとのこと。これから実績をもっとあげたいようなのですが、時代でしょうか女性の要望が強く男性が負けてしまうそうです。ロータリアンとしてブライダルの人数を増やしたく、皆様には協力していただきたいと説明をいただきました。皆様も顔の広い方々なので独身者が、特に女性が少ないようなのでいましたらご紹介いただければと思います。

◇新世代奉仕部門 佐藤太会員

新世代部門は育成・インターアクト、ローターアクト、RYLA、青少年交換委員会の4つの委員会で構成され、大熊さんと池田さんがそれぞれ出向されています。

当クラブに関する事業では来年1月11～16日第3750地区韓国研修受入、3月22～27日韓国研修派遣が決定しています。詳細が分り次第ご報告いたします。

RYLAでも来年5月頃研修セミナーがありますので、こちら詳細が分り次第追ってご報告します。

青少年交換委員会は池田委員長よりご報告があると思うので割愛しますが、活動活性化の為補助金のアップを直訴するなどご尽力されています。

今回参加させていただき、とにかく大変だと言う事が分り、エレクトにしてやられたと思うところもありますが、青少年育成、自己成長の為、皆様のご協力をいただきながら頑張りますのでよろしくお願い致します。

◇ロータリー財団部門 奥野明彦会員

色々な行事がありますが、皆様のご協力、ご理解をいただきながらおこなって行かなくてはならないと思いました。ロータリーの寄付金が年次として200ドル、ポリオが50ドルに変わりました。ドルの換算も月によって変動いたします

がよろしくお願ひいたします。また、恒久基金として各クラブ、ベニファクター1名。会員50名以上で2名を出していただきたいとの要望がきています。また、新しいロータリーカードができましたので、案内がいくと思います。よろしくお願ひします。

**理事就任挨拶**

**奉仕プロジェクト常任委員長**

**染谷宗一幹事**

次年度小林会長の方針に乗っ取り、自分のすべての知識を使い務めていきますので、よろしくお願ひします。

**戦略計画委員長**

**吉田豊治会員**

地区でもベスト15くらいに入るクラブで、いつも素晴らしいクラブですねと言われるのですが、ふと考えた時まだ足りないものがあるなど。それが戦略計画に繋がるのでは無いかと考えます。昨年までは無認証でしたが、今年は承認をいただきましたので、副委員長の大熊さんと頑張りたいと思います。

**スマイル報告**

- 地区協議会報告ありがとうございます・・・荒井、池田(女)、糸賀、小林(光)、清村、瀬尾、水町
- お誕生日、ご結婚おめでとう御座います・・・加藤、仁多見
- 誕生日祝有り難う御座います・・・木佐、佐藤、深井
- 結婚祝有り難う御座います・・・赤松、木佐、佐藤、吉田
- 浅水直前会長、久々の挨拶ご苦労様です・・・石田、小林、本田
- 丸山さんようこそ・・・中島、野呂田
- 今日もよろしくおねがいします・・・池田(節)、染谷
- 今月もよろしく・・・石塚、斉藤
- 本日早退します・・・赤松、飯泉、岡田、中尾
- 結婚祝有り難う御座います。本日は会長代理でした・・・浅水
- 地区協議会に出席しました。社会奉仕は大変だと思いました・・・小林(武)
- 小林エレクト誕生日プレゼント有り難う御座います。また、中島さん、染谷幹事、久木野さん御馳走様でした・・・遠山
- 欠席が多くて申し訳ありません・・・奥野
- 屋根より高い阿部のぼり大きい希望をはたそうよ・・・神谷

**出席報告**

例会日	平成24年12月13日		
会員数	52名	出席	33名
出席免除者	11名	欠席	15名
出席率	80.48%	前々回MU	1名
MU修正率	80.48%	会報担当：仁多見	

————— クラブプロフィール —————

☆姉妹クラブ 国際ロータリー第3460地区  
台中南区扶輪社(中華民國台中市)

☆例会日 毎週木曜日(PM:30~1:30)

☆例会場・事務局 〒343-0842  
越谷市蒲生旭町10-14 中野ビル2階  
TEL 048-987-5761 FAX 048-987-5762